



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年6月30日発行 第4号

『制約を力に変えて』

岩内東小学校長 齊藤 信之

爽やかな青空の下、子どもたちは元気に登校しています。今年は、一度立ち止まり目を合わせて挨拶する子が多く、朝の校門前では「おはようございます」の音が響き合っています。

延長か解除かと気をもみましたが、緊急事態宣言が解除され、晴れて修学旅行へ旅立つことができました。出発前には、改めて「新型コロナウイルス感染症」について学習し直すとともに、旅行中に気を付けるべき点をしっかりと確認しました。特にグループで行動する自主研修中やホテルの部屋での過ごし方には不安材料が多く、“何よりも感染症対策を最優先すること”を繰り返して呼びかけ、「おみやげは、みんなの健康と笑顔」を合言葉にして出発しました。

何かと制約がある中ではありましたが、旅行中には、6年生の子たちの良さが際立ちました。事前に下調べを行って臨んだ自主研修は、あいにくの雨となりました。ですが、最後まで楽しむ気持ちを忘れませんでした。合羽を羽織ったり傘をさしたりしつつも、めげることなく計画に従って行動し、前向きに旅行を楽しむ姿がとても素敵でした。また、食事の光景も例年とは大きく異なりました。向かい合って楽しく会話しながらではなく、学校での給食と同じく、みんなが同じ方を向いて食べました。「いただきます」とマスクを外した後は、一切、話し声がありません。予想以上の徹底ぶりで、その実直さに感動しました。さらには、すっかり雲の中に入ってしまった函館山の山頂でも「買い物を楽しむぞ！」と不平不満を口にするのは一切ありませんでした。下りる途中、少し開けた場所にバスを止めてもらい、かろうじて眺めることができた夜景を「きれい！」と言ってくれるのは、この子たちだけかもしれません。現実を受け入れ、置かれた状況の中で楽しめることを最大限に楽しんでくれる子どもたちに救われました。「いろいろと制約はあるけれど、こうして友だちと一緒に修学旅行に来られたことがうれしい。来られたことに感謝したい。」子どもたちのそんな思いが至る所にあふれていた2日間でした。

来たる7月4日（日）は運動会です。今年は、徒競走、リレーの他に表現も加えました。「たら丸音頭」や「よさこい」では、威勢のいい掛け声が入りますが、念には念を入れ、今年は我慢です。迫力がなく残念に思われるかもしれませんが、最優先すべきものを考えた結果です。ご理解ください。せめて、晴れ渡った空の下で気持ちよく運動会を行わせてあげたいと願うばかりです。様々な制約の中、くじけず、めげずに今できることに全力で取り組む子どもたちに大きな拍手をお願いします。日々、頼もしく成長を続けている子どもたちをみんなで応援してあげましょう。